

藤友



2007
夏号
NO. 363

ご挨拶

「成功」と「失敗」

「失敗は成功のもと」といわれ、失敗することが次の成功につながることであり、一度や二度の失敗で挫折することなく、チャレンジしなさいという教訓です。

本田技研工業の創業者である本田宗一郎さんは、私は退任者の挨拶の中で、大過なくすごしたという言葉が、一番嫌いだ。自分が成功したのは1%。99%は失敗だったという言葉に、あの偉大な本田宗一郎さんでさえ、人生には、たえず失敗がつきものであることを学び、勇気づけられます。

ある雑誌に「大過なく、まして功績さらになく」という川柳がありました。自分のことをいわれているようで、反省させられます。失敗を恐れずチャレンジすることが大切です。

最近「成功は失敗のもと」という現象も見受けられます。一度成功したことにより、何度もそれを期待して、同じ事を繰り返します。

いつも柳の下に泥鰌はいません。世の中が変化せず、ずっと現状が続くのならば、同じことをやっても生き残っていけるかもしれませんが、目まぐるしく変化する現代社会では、過去の成功体験を固持すると、滅亡することになります。

商品の仕入れをする方が、昔の成功体験が邪魔をすることがある。

若者の新しい発想を尊重せねばといていましたが、「成功は失敗のもと」というのも、なるほどと感じます。

ともあれ、失敗を恐れず成功に胡座をかかず、常に殻を破って成長することが、いつの時代にも必要な真理だと思います。



代表取締役 高藤昌和



2007/5/25

安全衛生協力会総会



第39回 安全衛生協力会定時総会を平成19年5月25日
下関グランドホテルにて開催しました。
会員数56社 出席54社 委任状2社 規約第13条、
過半数の出席を持って成立しました。

議案審議

- (1) 平成18年度事業報告
- (2) 平成18年度決算報告
- (3) 監査報告
- (4) 役員改選

会長	吉田 裕彦	留任	山十(株)
副会長	井上 年生	留任	(有)井上板金加工所
"	末永 武豊	新任	末永商事(株)
理事	芳賀 勝海	留任	(株)工材社
"	中村 誠司	留任	(有)中村鉄筋工業
"	山田 正信	留任	(株)山田工務店
"	鍋島 正憲	新任	(株)鍋島産業
"	久能 健蔵	新任	久能組

(5) 新入会員

(株)大森工業 解体工事業

退会会員

山一工業(株)・(株)河久電気工業所・福山建設(株)

- (6) 平成19年度事業計画審議
- (7) 平成19年度予算審議

以上承認可決されました。

2007/7/2

戸ノ上神社安全祈願

平成19年度 全国安全週間 社長メッセージ

“皆さんご安全に”

「組織で進めるリスクの低減
今一度確認しよう安全職場」

のスローガンのもと、第八十回全国安全
週間を迎えました。

建設現場は、製造業と異なり、毎日毎日
が目まぐるしく変化する職場です。それ
だけに安全設備の充実は大切なポイント
となります。

また、たくさんの職種の方々の作業が、
一緒に進めることとなる組織で、リスク
の低減を実行することが必要です。

全国安全週間を機に、今一度、職場の安全
を確認しましょう。

“先手、先手の安全対策

我、今何をなすべきか？”

ご安全に

代表取締役 高藤 昌和 (総括安全衛生管理者)



安全宣言 社員代表 野田剛

2007/7/4

本社安全大会

本社は、安全大会を門司体育館にて開催いたしました。

出席者 社員 31名 協力会 52名 計 83名。

高藤社長、吉田協力会会長の挨拶に続き、来賓祝辞と安全講話を北九州東労働基準監督署、門司支署、梅木支署長にいただきました。

平成19年度安全表彰受賞者

高藤建設株式会社の部

優良賞

建設部 建築グループ 野田 剛
福岡支店 建築課 安井 徹

努力賞

建設部 建築グループ 田中 満弘
建設部 建築グループ 野坂 昌志
建設部 建築グループ 松瀬 英克
建設部 建築グループ 河崎 竜市

無災害現場

門司松ヶ江病院増改修工事

所長 丹羽 義忠 他20件

高藤建設安全衛生協力会の部

高藤社長賞

梶原建設工業有限公司 梶原 進 殿

協力会会長賞

有限会社山口工務店 篠崎 将吾 殿

久能組 萩原 崇 殿

西鉄電設工業株式会社 蔭田 清和 殿



2007/6/21

大阪支店安全大会・総会

関西支部は、平成19年度の支部総会と安全表彰式を支店4階会議室で開催いたしました。

総会において、鳥越支店長、村井支部長が挨拶し、日頃の安全活動に対する謝意と今後も災害ゼロはもとより危険ゼロの実現を目指して推進することを要請しました。安全表彰では労働災害防止に貢献したとして、支店長賞に(株)田口窯業商店様、支部長賞に谷口年様に賞状と金一封が贈られました。



2007/6/26

福岡支店安全祈願祭・安全大会

福岡支部でも、安全祈願祭を櫛田神社で、安全大会を支店会議室にて開催いたしました。

安全大会では労働災害防止に貢献したとして、支店長賞に村本商事(株)村春夫様、支店長賞に江崎伯治様、国武誠一様、吉本祐治様、仲道福麿様、細山田孝博様が選ばれ賞状と粗品が送られ、全員でゼロ災害の継続を誓いました。



2007/7/4

全国安全週間作品結果

標語の部

- 1位 見逃すな 毎日変わる 危険箇所 営業部 大江 邦彦
- 2位 常にもとう!! 安全意識と心のゆとり 営業部 清水 敏己
- 3位 日々点検、ゼロ災害への、第一歩 建設部 國本 忠史
- 佳作 社長 高藤 昌和 建設部 林 年数 建設部 江木 一雄 他 56名

ポスターの部

金賞



建設部 江木一雄

銀賞



管理部 栗原京子

銅賞



建設部 久田貴文

入選



社員家族 江木加代子

入選



社員家族 和田美由紀

入選



建設部 和田宣明

バッチの部

金賞



建設部 和田宣明



管理部 萬田恵一



管理部 横山信之



建設部 丹羽義志



ADD室 加藤葉子



ADD室 上原和彦



ADD室 豊島和司



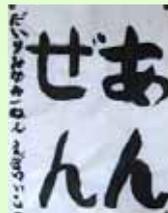
建設部 江木一雄



品質管理室 二階堂茂

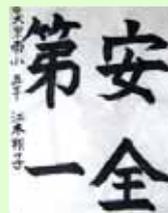
習字の部

小学校低学年の部

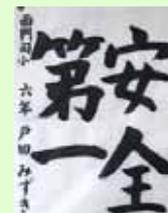


天賞 江木 結子

小学校高学年の部



天賞 江木 翔子

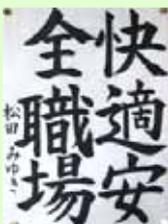


地賞 戸田みずき

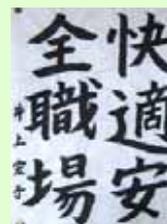


人賞 鶴田千晶

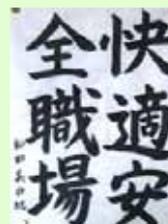
一般の部



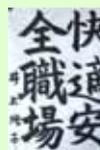
天賞 松田みゆき



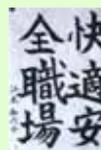
地賞 井上宏子



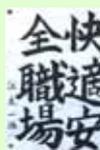
人賞 和田美由紀



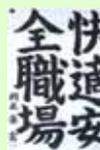
井上純子



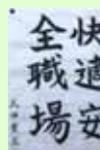
江木加代子



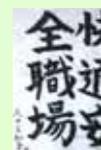
江木一雄



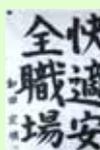
岡本朱実



久田貴文



久田真知子



和田宣明

門司労働基準協会の作品募集にも出品しました。戸田みずきさん地賞、江木翔子さん人賞に入選され、門司駅に展示されました。

真鶴苑



発注者 医療法人 真鶴会 小倉第一病院 様
 設計監理 鍵本建築設計事務所 様
 工期 平成18年10月15日～平成19年5月20日
 規模 RC造5階建 延床面積 674.6㎡
 工事場所 北九州市

〈完成して一言〉

小倉北区真鶴の静かな住宅街の中に託児所を完備した看護師寮が完成しました。
 1階は子供がいる看護師さんの為の託児所になっていて福利厚生が充実した建物になっています。

【建設部 江木】



野原商会新門司第2工場



発注者 株式会社野原商会 様
 設計監理 亀田コンストラクト一級建築士事務所 様
 工期 平成19年2月1日～平成19年5月21日
 規模 鉄骨造平屋建 延床面積 578.87㎡
 工事場所 北九州市

〈完成して一言〉

外部、内部腰壁RC打放の上に外壁の角波・内部の塗装色共、シンプルで清潔に仕上がっています。新門司工業地域の中に明るくさわやかな建物となっています。

【建設部 河崎】

九州藤巳運輸社屋

発注者 九州藤巳運輸有限公司様
 設計監理 高藤建設株式会社一級建築士事務所
 工期 平成19年3月10日～平成19年5月31日
 規模 鉄骨造平屋建 延床面積 94.93㎡
 工事場所 北九州市



〈完成して一言〉

九州の玄関口、阪九フェリーターミナルに隣接し近くに山の緑もあり心癒される環境です。事務所と給油所及び広い駐車場を備えています。

【建設部 國本】



タカフジ・アパートメント

発注者 高藤建設株式会社
 設計監理 株式会社テイクナイン計画設計研究所様
 工期 平成18年5月1日～平成19年4月30日
 規模 鉄骨造12階建 延床面積3971.93㎡
 工事場所 北九州市

〈完成して一言〉

ホワイトとグレーの色使いによりスッキリとしたスマートな外観となっています。1,2階は貸し店舗、3階は貸し事務所、内部住戸は主に高優賃、特優賃となっています。

【建設部 和田】



T 2ゲート



発注者 T様
 設計監理 高藤建設株式会社一級建築士事務所
 工期 平成18年7月1日～平成19年2月28日
 規模 鉄骨造5階建 延床面積 1030.71㎡
 工事場所 大阪市都島区

〈完成して一言〉

施主様、(財)住宅開発改良公社様、並びに協力業者各位の御協力で無事竣工する事が出来ました。ありがとうございました。

【大阪支店 杉】



三島製紙(株)吹田工場改造



発注者 三島製紙株式会社様
 設計 高藤建設株式会社一級建築士事務所
 工期 平成18年12月1日～平成19年7月10日
 規模 工場棟4棟 (RC造・S造)、平屋建
 延床面積 2967.0㎡
 工事場所 大阪府吹田市



〈完成して一言〉

短工期で難工事でありましたが、施主様、協力業者各位、別途業者の皆様のご協力のもと無事にお引き渡しすることが出来ました。ありがとうございました。

【大阪支店 鳥上】

本社CS事業部

CSとはCUSTOMER SERVICE(お客様の立場にたって考えたサービス)を提供する事業部です。どんな小さな工事でもお気軽にご相談ください。熟練したスタッフが素早く対応いたします。



ハンガードアへ取替え



外壁改修



外壁改修



外壁改修



外壁吹替え

BEFORE

AFTER

外壁改修



大阪支店

改修工事

全面改修



全面改修



平成19年4月11日から13日の2泊3日で、昨年入社した2名と今年入社した2名の当社ニューフェイス4名が自衛隊体験入隊研修を受けてきました。



自衛隊体験入隊研修を終えて

私は、入社2年目なのになぜ自衛隊体験入隊研修を受けるのか、疑問をいだきながら参加しましたが、いろいろな面で勉強になりました。

私が最も印象に残ったことは、歩伏前進と登山走です。歩伏前進には6種類もの型があり、どれも体力的にキツイものでした。また登山走では、苦手な長距離走なので、完走できるかどうか心配でしたが、完走できた時の達成感は素晴らしいのもでした。

この研修で学んだことを今後いかせるかどうかは自分次第なので、今後の業務でひとつでも多く実行し、早く一人前の現場監督になれるように「団結」「規律」「士気」を常に心掛け努力します。

【本社建設部 長野 雄一】



今回、自衛隊体験入隊研修を受けるに当たり、諸先輩方にいろいろと厳しい噂を聞かされていました。実際、噂どおり、とても厳しいものでした。

なかでも身体を動かす訓練よりも、生活する上での規律の厳しさに苦労しました。ベットの整頓ひとつにしても、多くの規則があり、覚えるのが大変でした。しかしこれは一般の生活にも活かせることが多くあり、とても勉強になりました。

私が最も印象に残ったことは、朝礼や点呼での集合と登山走です。朝礼や点呼での規律はとても厳しく、たったひとりのミスで、全員で腕立て伏せをしたり、全員ができるまで整列を繰り返すことなど集団行動の大切さを学びました。また登山走では、皆で助け合いながら登ることで、班の団結に感動しました。

担当教官の末吉3曹、山口士長ありがとうございました。ここでの経験を活かしがります。

【本社建設部 國本 忠史】



最初に自衛隊の話聞いた時、とても不安でしたが、その気持ちを変えるために修学旅行の気分で行くことにしました。しかし友人や父親から自衛隊の話は聞いていましたが、実際に入隊して体験してみると、その厳しさにとっても驚きました。

しかし、この体験で社会の一員になれたような気さえし、そして今までの自分の生活がだらしく思えてきました。

3日間の研修の中で、体力測定と登山走が一番印象に残りました。

私は残り少ない愛煙家であり、体力にはあまり自信がありませんが、思った以上の測定結果が得られました。しかし張り切りすぎたのか、翌日は筋肉痛に悩まされました。

登山走では、体力測定の筋肉痛と戦いながら、グループ皆で声をかけ、助け合いながら頂上まで完走することができました。

この研修は私にとって得るものがとても多く、これからの業務に活かしていけるようにがんばりたいと思っています。

【本社建設部 鶴 正博】



最初 自衛隊に行くとき聞いた時、とてもイヤで、その日が近づくとドキドキしていました。入隊して最初に感じたことは、隊員のみなさんの足並みが揃っているのと、声の大きさにとても驚きました。またとても話づらそうな厳しい方々のようなイメージでした。

しかし、実際に隊員の方々に接してみると、第一印象とは違いとても話やすく、厳しいイメージはメリハリをきちんとしているだけで、とてもいい方ばかりでした。

3日間の研修の中で、体力測定と登山走が一番印象に残りました。

腹筋運動は、自分が思った以上にできず残念、鉄棒の懸垂は思っていた以上にできました。

翌日の登山走は、走って山を登ることの「キツサ」を痛感させられました。山頂からの景色は最高で、登山走をしてよかったと思いました。この自衛隊研修で学んだ経験、大きな声と気合で、これからの仕事に取組むしたいと思います。

【本社建設部 中野 翔】



編集後記

表紙の写真は阿蘇外輪山の南西側すそ野、熊本県上益城郡（旧矢部町）にある通潤橋です。

この石橋は1854年に完成し、それまで水の無かった自糸台地に42ヘクタール（東京ドームグラウンドの32倍）の水田が生まれ、さらには100ヘクタールもの水田が作られました。

全長79.64m、橋幅6.65m、橋高21.43mの通潤橋は人を渡す橋だけではなく、橋の上に石造パイプを3列並べた通水管を通し、水を渡す水路橋です。水路は水の吹上りが取入口より約6m低くなり、逆サイホンとも呼ばれる連通管によって対岸に水を送る特異な構造で、アーチ橋自体の技術史上、また文化史上貴重な遺構、極めて重要な建造物と認められ、昭和35年2月9日に文化財保護法の規定により、国の重要文化財にも指定されています。

通水管の清掃をするために、表紙写真のようにとどき橋の中央部から放水している画は、酷暑の続く真夏に私たちへ涼を届けてくれます。

発行

高藤建設株式会社 高藤昌和
北九州市門司区東新町1-1-30
TEL093-381-0461 FAX093-381-0543
H t t p : / / t a k a f u j i . c o . j p



高藤建設株式会社

